

3 観光立国・日本の戦略拠点の整備

(観光庁・外務省)

1 現状等

訪日外国人 3,000 万人プログラムにおいて、訪日外国人旅行者を 2013 年までに 1,500 万人、将来的には 3,000 万人に増やすという目標が掲げられていますが、世界的な経済危機、円高等の影響により楽観視できない状況にあります。

2 課題等

観光立国・日本を実現するためには、国際競争力の高い魅力ある観光地が必要です。京都は、伝統、文化、自然、和の精神など日本文化の源を確認することができる我が国を代表する歴史都市であり、京都の魅力を更に高め、海外に発信することが、訪日外国人旅行者数を高める大きな原動力となります。

こうした観点から、日本文化の原点である京都をラグジュアリー層やMICE^{*1}をはじめとする訪日外国人誘致の戦略拠点とすることが、観光立国・日本の国益にかなうものと考えます。

つきましては、京都が観光立国・日本の先導的役割を力強く果たすため、次のとおり提案します。

3 提案事項

- (1) 観光立国の戦略拠点として観光庁分室を京都に設置
 - ア ALT^M*²の共同誘致など、ラグジュアリー層の誘致戦略拠点に位置付け
 - イ MICEの誘致戦略拠点に位置付け
- (2) 海外日本大使館、在日海外大使館等との連携
 - ア 京都セミナーの開催や海外における京都の伝統産業、食文化の紹介
 - イ 各国要人やラグジュアリー層向けの誘致策の展開
- (3) 中国をはじめ新興国からの訪日観光促進のための観光査証の免除を含めた発給手続きの簡素化

所管の省庁課：観光庁（総務課） 外務省（大臣官房地方連携推進室、領事局外国人課）

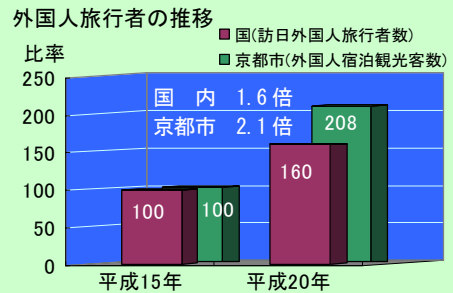
京都市の担当課：産業観光局 観光部 観光企画課 北村信幸 TEL 075-222-4130

産業観光局 観光部 観光振興課 横井雅史 TEL 075-222-4133

産業観光局 観光部 観光振興課 国際事業担当課長 柿沼宏明 TEL 075-222-4133

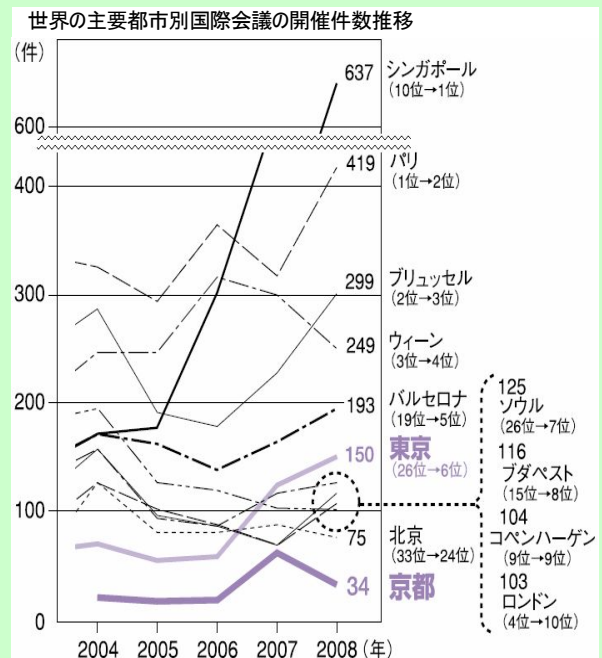
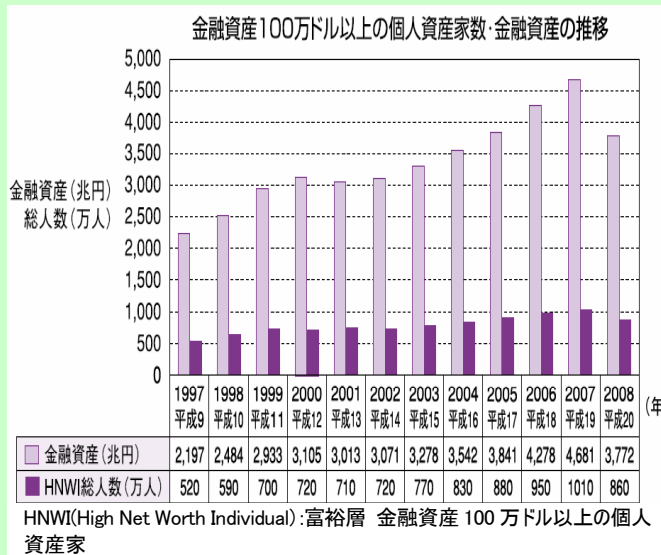
現状・京都市の取組

- 入洛観光客 5,000万人の達成（平成20年）
- 外国人宿泊観光客数は、5年間で倍増。特に欧米諸国からの人気が高い。
（平成15年 45万人⇒平成20年 94万人）
- 世界の中での「京都」の健闘
 - 「トリップアドバイザー」（旅行情報 HP）
→「魅力ある観光地」（アジア）で1位
 - 「ワンダーラスト」（旅行情報誌）
→「満足度の高い観光地」（世界）で1位
- 京都駅の総合観光案内所（平成22年3月16日オープン）において、JNTOとの連携により全国の観光情報に関する案内機能が充実
- 「観光スタイルの質」と「観光都市としての質」を高め“旅の本質”を追求する「未来・京都観光振興計画2010^{fs}」を策定。（平成22年）
- 「未来・京都観光振興計画2010^{fs}」において、「ラグジュアリー層に対する誘致の強化」を重点事業に位置付けた。
- MICE推進の重要性に鑑み、他の自治体に先駆けて「京都市MICE戦略」を策定。（平成22年）



中国人観光客の観光査証発給手続緩和の経過

H12.9	北京、上海、広東省住民、団体旅行に限り観光ビザ取得可能に
H16.9	天津、遼寧省、山東省、江蘇省、浙江省に対象拡大
H17.7	中国全土に対象拡大
H20.3	家族観光に対象拡大
H21.7	個人観光(富裕層に限る)に対象拡大



※1 MICE（マイス）

M: ミーティング（企業のミーティング等）、**I**: インセンティブ（企業が従業員の表彰や研修などを目的に実施する旅行）、**C**: コンベンション（国際団体、学会等が主催する総会、会議等）、**E**: イベント/エキジビション（文化・スポーツイベント、展示会、見本市）

※2 ALT M（アジア・ラグジュアリー・トラベル・マーケット）

アジアの富裕層を顧客に持つ旅行会社等と高級ホテル等による商談会